

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

最近、日中は30℃前後の気温で、まだ夏を感じますが、朝夕は大分涼しくなり、秋の気配を感じるようになりました。ところで、「処暑」という言葉を聞いたことがありますか？「日が差す日中は暑いものの、朝夕には涼風も吹き、過ごしやすくなるころ」まさに今の時期を言い表すのにぴったりな言葉です。今年の処暑は8月23日でした。春分や秋分、夏至や冬至などと同様、二十四節記（にじゅうしせっき）の1つです。これらが記載されているカレンダーは、最近は少なくなってきたように思います。

さて、話は変わりますが、「大人の～」というお菓子が、店頭に並ぶようになってから、10年位になるでしょうか。初めてそれをお店で発見した時の驚き、興奮は今でも覚えています。最近では、種類が増えるとともに、選ぶ楽しみ、食べる楽しみも増えました（体重も増えるかも(^_^;)）。

「大人の～」というお菓子が出始めた10年位前は、まだ、小学生の娘とよく買い物をしてきた時期でした。一緒にお菓子を選びながら、私は「大人の～」というお菓子を手に取り、娘に『大人の～』というお菓子だから、子どもは食べられないんだね～』と言いました。大人向けに甘さが控えめで、ちょっと贅沢な味わいなので、子どもに食べさせるにはもったいないと思ったので、つい、そう言ってしまいました。うまいことを考えた自分では思いましたが、そんなことを言われたら、逆に食べたくなるのが人情です。娘も「なんで、子どもは食べられないの～？」と、よく言っていました。さらに、「大人の～」とパッケージに書かれたお菓子を私が手に取るたびに、「それ、私は食べられないんだよね(;-_-)」と言っていました。いまだに言われます…(;-_-;)）。

この「大人の～」というお菓子は、実は、少子化社会の現れでした。お菓子を食べる世代の子どもたちの数が減ってきていることで、お菓子を消費する世代を拡大していく必要があったそうです。そうだったのかと思うとともに、娘が18歳で成人したら、「大人の～」をプレゼントしようかと思っている今日この頃です(*^*)

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★